

森林インストラクター資格取得支援講座

「森林内の野外活動」

2019年5月6日(月振替休日) 曇り 八王子市 長池公園

森林インストラクター資格取得支援講座の三日目「森林内の野外活動」を八王子市の長池公園でFITの田川さんが講師で、会員9名運営スタッフ5名で実施しました。

午前中は公園内の広場で野外ゲームとロープワークの実習を行いました。講師の指導でアイスブレーキングからメインアクティビティまで、野外ゲームの流れにそって「後だしじゃんけん」「輪になって」から「蝙蝠と蛾」「オーディア」まで色々なゲームを体験しました。

アイスブレーキングの目的は初めて顔を合わせる参加者の心を解きほぐすこと、ゲームは参加者だけでなくリーダーと一緒に楽しむこと、大人も子供も楽しむこと、年齢や参加者の人数や年齢によってプログラムを組み立てることが大事などの、野外ゲームを行う上での注意点の説明がありました。

ロープワークでは、4つの用途10種類の結びを練習しました。止め結びから始めて、八の字結び、本結び、テグス継ぎ、一重継ぎ、鎧結び、もやい結び、巻結び、振り結び、ふた結びまで結びを練習しました。

午後は研修室で講義とネイチャークラフトの実習を行いました。「野外活動」の科目の解説と過去出題された項目・キーワードについて説明がありました。受験勉強の進め方として、一問一葉の過去問題カードを作って勉強した、会社に早く出て始業時間までに集中して学習した、文章を書く機会が少ないので手で書く練習をしたなど、講師とスタッフから勉強方法の紹介がありました。



野外ゲーム実習：蝙蝠と蛾



クラフト実習：作品と参加した皆さんおよび講師

クラフト実習では、小刀や電動ドリルを使って桜の小枝で「合格鉛筆」を、クロモジやクスノキの小枝で青黄黒緑赤の「五輪鉛筆ブローチ」を作りました。小刀や鋸などの刃物を使う時は、正しい持ち方や安全な使い方を理解して、子供たちを指導できることが必要です。また作業手順も大事な要素です。削ってから短く切る作業手順を、短く切ってから削る作業手順にすると大変な労力が要ります。今回の体験を今後に活かしましょう。

参加者：氏家さん、川口さん、久保さん、佐藤さん、田代さん、中林さん、古谷さん、星野さん、三井さん、

講師：田川裕則さん

スタッフ：小野梨香さん、芝原 久さん(写真)、藤岡 真さん、横井行男さん

(報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫)





実習：初めはアイスブレイキング



実習：「ノーズ」



実習：「動物交差点」



公園内に咲く初夏の花1：ギンラン



公園内に咲く初夏の花2：ツクバネウツギ



実習：環境チームと鹿チームに分かれて「オーディア」



ロープワーク実習：本結びの練習



座学：ネイチャーゲームについて